

1 学校評価・自己評価 (A…達成 B…概ね達成 C…やや不十分 D…不十分)

確かな学力の育成

| 評価指標・取組指標 <small>アンケート丸数字は項目番号</small> | 達成状況・取組状況 <small>アンケート数値は「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合()は前年比</small> | 評価 |
|---|---|----|
| <p>■学力向上実行プランに基づく学力向上に向けての取組 【アンケート：学力向上への取組 (職②)】</p> <p>■家庭学習習慣の確立 【アンケート：家庭学習 (児⑦保④)】 【アンケート：学習習慣 (児⑨保⑥)】</p> <p>■話すこと、聞くことの系統的指導 【アンケート：「話す」(児④)】 【アンケート：「聞く」(保①職③)】</p> <p>■主体的・対話的で深い学びを生み出す授業実践</p> <p>【アンケート：わかる授業 (児②保②)】</p> <p>■GIGAスクール構想の推進</p> <p>■学校図書館の充実と読書活動の推進 【アンケート：読書習慣 (児⑧保⑤)】</p> | <p>■全国学力・学習状況調査、県ステップアップテストの全職員による結果分析と授業改善 職員 100%(+6.7)</p> <p>■基礎学力の土台となる取組 立腰タイム 「授業のやくそくこれだけは」の徹底</p> <p>■ぐんぐんテストの実施</p> <p>■「家庭学習の手引き」の活用 児童 68.9%(-8.3) 保護者 49.5%(-6.7) 児童 82.2%(-1.9) 保護者 78.6%(-5.2)</p> <p>■「話し方名人、「聞き方名人」の奨励 児童 71.2%(+6.1) 保護者 77.7%(-2.3) 職員 61.5%(+8.2)</p> <p>■授業改善のための授業研究会の実施 ・鴨島東中学校区小中学校合同での授業研究会の実践 算数(牛島小), 数学(東中) ・県小学校教育研究会研究発表 算数部会, 体育部会 ・市小学校教育研究会 総合的な学習の時間 児童 89.0%(-0.7) 保護者 82.5%(-2.2)</p> <p>■高学年を中心としたタブレット端末の活用 次の日の学習予定や授業, 家庭学習における利用やむを得ず登校できない児童への対応</p> <p>■鴨島図書館による配本(毎月)</p> <p>■読み聞かせボランティアによる読み聞かせ実施 児童 55.1%(-14.0) 保護者 37.9%(-4.0)</p> | C |

成果と課題

学力向上を推進することで、学びに向かう雰囲気が醸成され、自分の考えを発表しているとする児童が増加しており、聞く姿勢について教職員の評価が昨年より高くなっている。話し合い活動を大切にしたり、振り返り活動を充実させたりするなどし、深い学びのための授業改善が少しずつ成果をあげた。さらに、児童に応じた「わかる授業」への工夫にも取り組みたい。家庭学習や読書習慣においては、昨年度より、児童・保護者とも評価が低くなり、家庭学習の啓発、児童の興味関心の高い本の紹介等、読書啓発にも具体策を講じていく必要がある。

豊かな心の育成

| | | |
|---|---|---|
| <p>■生徒指導の充実 【アンケート：挨拶 (児⑩保⑦職⑭)】 【アンケート：規則遵守(児⑭保⑨職⑰)】</p> <p>■人権教育の取組 【アンケート：友達関係 (児⑱保⑪職⑮)】 【アンケート：他者への承認 (児⑲)】 【アンケート：他者からの承認 (児⑳)】</p> <p>■道徳教育の推進</p> <p>■特別支援教育の取組</p> <p>■体験活動や自主活動の充実 【アンケート：生命尊重 (児⑳保⑫)】 【アンケート：自主性 (児⑳職⑱)】</p> | <p>■児童会の主体的な取組への支援 児88.1%(+0.8) 保80.6%(-5.1) 職76.9%(+23.6) 児90.7%(+0.2) 保80.6%(-7.0) 職84.6%(+4.6)</p> <p>■いじめ防止の取組, スクールカウンセラーの活用</p> <p>■なかよし週間, 親子輪読の実施</p> <p>■森山地区人推協との連携(人推大会等の開催) 児87.3%(±0) 保92.2%(-4.0) 職92.3%(+19.0) 児童 87.3%(+5.5) 児童 90.7%(+1.0)</p> <p>■年間計画に則った指導</p> <p>■関係機関との連携 巡回指導員の活用</p> <p>■「ポジティブな行動支援」の実施</p> <p>■レッツ森山班(異年齢集団)活動の実施</p> <p>■米作り(田植え, 稲刈り)</p> <p>■栽培活動(生活科, 理科, 菊作り, 栽培委員会) 児童 92.4%(-2.9) 保護者 81.6%(-10.8) 児童 85.9%(-0.2) 職員 69.2%(+35.9)</p> <p>■金管バンドの活動</p> | B |
|---|---|---|

成果と課題

挨拶や規則遵守など、保護者の評価は少し下がっているが、児童・職員の評価はともに上がり、生徒指導や生活習慣の定着が図られている。家庭との連携による人権教育の取組を本年度も継続することができ、行事や取組後のアンケートなどからも高評価を得た。本年度も菊作り、生活科・理科などで栽培活動を行い、生命尊重の態度の育成を行った。アフターコロナにおける体験活動の再構築を図り、取組の充実をめざして機会を増やしている。

健康な心身の育成と体力向上

| 評価指標・取組指標 <small>アンケート丸数字は項目番号</small> | 達成状況・取組状況 <small>アンケート数値は「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合()は前年比</small> | 評価 |
|--|---|----|
| <p>■全国体力・運動能力・運動習慣調査</p> <p>■体力向上の取組</p> <p>■家庭、地域、関係機関と連携した食育の推進</p> <p>■早寝早起き朝ごはんを基本とする望ましい生活習慣の確立 【アンケート：けが、病気の予防（児③）】</p> | <p>■全国体力・運動能力・運動習慣調査 5年 徳島県 新体力テスト 5・6年</p> <p>■水泳、縄跳びにおける「がんばりカード」の活用</p> <p>■朝の持久走、持久走大会の実施</p> <p>■水泳練習（18名参加）、陸上練習（31名参加） クロスカントリー練習（27名参加）の実施</p> <p>■栄養教諭とのTTによる食育の授業（1,3,5年）</p> <p>■健康観察カードの活用 肥満傾向児童 4月 11.0% 1月 12.7%</p> <p>■年2回の歯科検診実施 児童 89.0%(+4.9)</p> | B |
| <p>成果と課題</p> | | |
| <p>児童が自分の体力やスキルを自覚し、目標をもって体力づくりや運動に取り組むために、水泳・縄跳びががんばりカードを6年間持ち上ることで成果が見られている。本年度は県・市の水泳、陸上運動の大会が開催され、高学年は大会に向けて練習に励み、体力が向上するとともに多くの入賞者を出した。肥満傾向の児童の割合は高くはないが、少し増加傾向にある。引き続き、養護教諭及び担任が家庭とより緊密な連携をとることで、肥満防止や、う歯の治療など健康教育の推進を図る必要があると考えている。</p> | | |

地域とともにある学校づくり

| 評価指標・取組指標 <small>アンケート丸数字は項目番号</small> | 達成状況・取組状況 <small>アンケート数値は「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合()は前年比</small> | 評価 |
|--|---|----|
| <p>■学校ホームページの充実と適切な情報発信、一斉メールの活用による家庭との連携強化 【アンケート：学校目標の理解促進（保⑩職①）】 【アンケート：適正な情報発信（保⑫）】</p> <p>■適切な情報交換の方法や場の設定</p> <p>■地域と連携した教育活動 伝統文化の継承</p> <p>農業体験活動の充実 ボランティア体験 【アンケート：地域交流の促進（保⑬）】</p> | <p>■学校便り、学年便りの定期的な発行</p> <p>■一斉メールの活用</p> <p>■学校ホームページの情報更新 保護者 76.7%(-5.2) 職員 100% (+13.3)</p> <p>保護者 86.4%(-2.2)</p> <p>■家庭訪問（4月）、個人懇談（7月） 学年懇談（4月、2月）</p> <p>■参観日の実施（4月、6月、9月、2月）</p> <p>■学校運営協議会（5月、12月、3月に開催）</p> <p>■生活科・総合的な学習の時間における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び体験（1・2年） ・「獅子舞」「傘踊り」（4年）、「二十四孝」（3年） ・米作り体験の実施（5年） ・アルミ缶回収活動（6年） <p>保護者 85.4%(+2.6)</p> | B |
| <p>成果と課題</p> | | |
| <p>本年度も学校の教育方針など情報発信が十分でないとする保護者が多く、学校通信や学年便りなど、各媒体の特性を生かしたきめ細かい情報発信が求められている。学校ホームページでは、昨年度より更新回数は減少したが、学校生活や行事の様子を随時発信した。新型コロナウイルス感染症対策も緩和傾向にあり、地域の方々の協力により、米作り体験の再開、地域の伝統文化の継承、昔遊び体験など地域に根ざした取組をさらに推進することができた。保護者の関心も高く、地域交流に関する内容は高い評価を得ているが、より質の高い学びのために、児童が主体的に取り組む態度を育成することが必要である。</p> | | |

安心・安全な学校づくり

| 評価指標・取組指標 <small>アンケート丸数字は項目番号</small> | 達成状況・取組状況 <small>アンケート数値は「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合()は前年比</small> | 評価 |
|--|--|----|
| ■安全点検の実施 ■交通安全家族の会、スクールガードと連携した見守り体制の充実 【アンケート：学校安全（職員⑧）】 ■地域と連携した防災教育の充実 | ■毎月の確実な安全点検の実施 ■交通安全教室の実施 スクールガード巡視 ■交通指導（教職員 月あたり 8 回） ■防犯教室の実施 職員 84.6%(-2.1) ■定期的な避難訓練、防災体験学習（本年度も中止） | B |
| 成果と課題 | | |
| 安全点検については昨年に引き続き観点を細かくし、点検を丁寧に行った。遊びや学習中のけが発生の状況から、環境整備とともに安全指導の充実を図る必要がある。交通指導については、コロナ禍が収束化されたこともあり、児童が開放的な気持ちになったために、交通安全教室を再度実施したり、交通ルール遵守の徹底を繰り返したりした。今後は地域と連携した防災訓練の必要性を検討するなど、防災教育の見直しを図る必要はあると考える。 | | |

働き方改革による教育の質の向上

| 評価指標・取組指標 <small>アンケート丸数字は項目番号</small> | 達成状況・取組状況 <small>アンケート数値は「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合()は前年比</small> | 評価 |
|--|--|----|
| ■校務支援システムの活用による効率化の推進 ■外部人材の活用 ■家庭、地域への情報発信による理解促進 【アンケート：働き方改革推進（職⑳）】 | ■校務支援システムによる勤務時間の把握 勤務時間外在校時間 月45時間超 月平均2.1人 ■ペーパーレス化の推進 ■学びサポーターの配置 低学年を中心に6月～1月 週5時間担任のサポート ■若手サポーターの配置（4・5月） ■ICT支援員による支援 ◆学校便り等での周知は未実施 職員 76.9%(+30.3) | A |
| 成果と課題 | | |
| 校務支援システムによる業務の効率化のため、学級事務や校務分掌の軽減、勤務時間外在校等時間の把握、学びサポーター、ICT支援員など外部人材の活用を推進した。教職員へのアンケートでは、働き方改革への取組が推進されてきているとの回答が増加してきているが、現状に満足することなく、なお一層の改革を推進する必要性を感じる。 | | |

| | |
|-------------|--|
| 総合評価 | (1) 学力向上では、知識・技能の習得において、基礎・基本の内容の定着が図られた。依然として、思考力・判断力・表現力等の育成には課題があるものの、授業改善やタブレットの活用、振り返り学習の充実を図ることにより、思考力等の育成を図りたい。また、読書活動の充実に継続して取り組むとともに、家庭学習に課題があることから、より一層、家庭との連携を深め、学習習慣の定着について継続して協力を求める。 (2) 豊かな心の育成という視点においては、家庭や地域との連携により成果を上げている取組を今後も発展的に継続していくことが重要だと考えている。児童・保護者・教職員とも評価が高い水準であることから、取組が概ね充実したものであったと考える。人権教育や道徳教育の個々の活動の意義や内容を見直し、育てたい心情や態度を明確にして取り組む必要がある。 (3) 新型コロナウイルス感染症対策も緩和され、従来の地域の特色を生かした取組も少しずつ実施できるようになった。今後も地域の産業や伝統芸能文化の継承を図り、地域とともに歩む学校づくりに努めたい。 (4) 働き方改革の目的は、教職員全体で取り組む具体策をとって業務改善を図るとともに、それらを教育の質の向上につなげ、教職員が子供たちと向き合える時間をつくり出すことである。これからも、機会あるごとに、成果を知らせることで、保護者や地域の方々に理解が得られるようにしていく必要があると考えている。 |
|-------------|--|